

一般検査委員会 春季セミナー 会議議事録

日程：2023.04.15（土） 11:00~11:50 場所：東北大学病院 小会議室1

参加：菊池先生、石山、宿谷、横山、神山、高山、堀田

欠席：清宮先生、下澤先生

書記：金沢

報告事項

メンバー自己紹介が行われた。

協議事項

1, 委員会名簿の確認（資料1）

現メンバーは幹事とし、新規委員を委員と扱うこととする。

→名簿は全会一致で、承認された。

2, 内規策定の確認（資料2）

石山委員長より、他の委員会の内規を模した案が提示された。（資料1）

1, （石山）第2章 目的及び事業 - 第3~5条に関する出版物発行の文言について

（宿谷）→このままで良いのでは？

JCCLSでは作成が遅いので、一般検査委員会として先行出版などあっても良いのでは？

（菊池先生）同意見である。

→全会一致で、了承された。

2, 第4章 幹事委員（幹事委員）の人数について、現行は1名だが、内規案の様に2名提案があった。在任は1名でも2名でも可能である。

→全会一致で、了承された。

3, 学術大会の企画について（資料3）

（提案要旨）

・取り上げる検査に関連するメーカーからの委員の増員をして、技術セミナー、シンポジウムなどの企画に進めたい。

・技術セミナーでは尿検査の目視判定および半自動分析装置の再確認・半自動分析装置は、メーカ

一指示に従わず、自己流で操作すると不適切なタイミングで試験紙をステージにセットしても測定はされて、測定値に信頼性が確立されないことなどを検証したい

- ・シンポジウムでは尿定性検査の再検査・尿試験紙の再検査について、40年前と同様に実施している施設もあり、再検査のあり方について考える時期ではないか？
- ・今回は委員会としては第1回となるので幅広く報告とするか、いずれかと考えます。
- ・可能であれば、半定量機器も準備し、実地デモも宜しいかもしれません。
- ・一方で、技術セミナーという名称でも内容は講演のみでも構わない

と昨年のWG以降、以下テーマについてメール審議などによって提案が絞られそれについて審議した。

【仮テーマ】

- ①尿試験紙の目視判定および半自動分析装置の再確認
- ②尿定性検査の再検査について
- ③昨年も発表がありましたが、アンケートでも要望の多かった内部精度管理

企画の審議

(菊池先生) 技術セミナーとは、POCTでは実技を含めたセミナーで、問題点を確認し、半々は講義、半分は実地で90分、すべて講義の場合もある。一般の場合は、試験紙メーカーに参加してもらって企画してもらうのはどうか？

(石山) 時間的に難しいのでは？

(菊池) 参加者全員体験は難しいが、メーカーによるデモンストレーションや動画を撮影して各社発表してもらう形式では？

(宿谷) メーカーが、問題点を提示しないのでは？

(菊池) 外れる場合の操作などテーマを指定にすることも可能

(宿谷) メーカーの選定は公募？現在は3社くらいとし、外れる要因となる問題点に絞ったテーマで実施してもらっては？または、半自動の外部精度管理データ(各社)のバラツキを公開してもらう

(石山) 全自動のみの施設の興味は減らないか→目視も実施するため、技術向上に繋がるのでは

(宿谷) 参加したメーカーを委員招聘し、次年度以降②の再検基準などに繋がる様にまとめていければよいのではないか？

(菊池) 医師会は半自動別で鑑別したことはないが、バラツキはあると思うので確認してみる

(高山) セミナーの定員はどうなるか？

(石山) 会場が大きく、動画参照にすれば定員でも無くても良いのでは？

→第55回 大会 技術セミナーの進行は以下内容、役割分担で承認された。

1. 基調講演として問題点を提示：宿谷 10-15分程度
2. 実演(モニタ視聴などで一括)各社 10-15分程度
3. セミナー総括→阪大、堀田：10-15分程度

司会：横山、石山

4. その他

【メーカー委員について】

(宿谷) メーカーの任期は？委員は2年任期（重任可能）

(菊池・宿谷) 一般検査は検体種が多いため、各年のテーマ別にメーカーを委員選考すべきでは？

(石山) 今回は尿に関連する三社位が良いのでは？→了承された

【委員メンバー追加の是非について】

・委員メンバー追加は必要か？→本年度は、このままで対応することです了承された。

【今後のテーマなどで他の意見は？】

(金沢) 当院使用メーカーでは、コントロールと検体では、測定方法や判定までの時間が異なっているのが問題と感じている。

(高山、神山) 半自動機器の使用はない。

(宿谷) ベットサイドにあるのでは？

(高山) ある可能性がある

(菊池) ISO の第 4 版では、院内機器管理も必要（精度管理責任者）を医療機関内で設置する必要あり、現場は共同指導のみでも可能では？帳票作成は必要、内部精度管理は努力義務（一般）

→今後、ベッドサイドの機器管理の是非や、指導、管理についても考慮してもよいかもとの意見も上がった。